

2022/07/09(土) ~11(月) 鳥海山(鉾立コース)・月山(8合目コース)

メンバー：L小野木、福田、辻

出羽富士と言われる活火山、単独峰、優美な山様の鳥海山。行動時間10時間余り、ロングコースの山は手強くキツイ山行であったが、雪渓、稜線歩き、お花畑、湿原、鳥海湖、岩場日本海の眺望と変化に富んだコースは、忘れられない思い出深い山行となった。

【1日目】 天気：うす曇り 気温30度

リーダーの都合で2回の中止の後、1日遅れの突然の出発となる。一度落ち込んだ気持ちを立て直し初日は450k、6時間の移動。西浜キャンプ場でテント泊。

テント設営後、入浴、海岸を散策。日本海に沈むサンセット、明日登る鳥海山を見て就寝。

【2日目】 天気：うす曇り 涼風 歩行時間8H45 休憩1H08 15k 標高差1427m

4:00起床～朝食後4:50出発～登山口5:20

鉾立象潟口5:40～6:45 賽の河原～7:25 御浜小屋～8:00 御田ヶ原～8:33 七五三掛～8:48 外輪山・千蛇谷分岐～9:30 文殊岳～10:00 伏拝岳～行者岳～11:05 御室小屋～11:30 鳥海山(新山) 休憩0:15～12:15 御室小屋～13:15 外輪山・千蛇谷分岐～13:20 七五三掛～13:48 御田ヶ原 休憩0:12～14:10～御浜小屋～14:33 賽の河原～15:15 鉾立展望台～15:34 鉾立象潟口

早朝はガスっていたが石畳みの登山道の高度を上げるにつれ青空が見えてくる。賽の河原ではチングルマ、ハクサンイチゲ、イワカガミなどの群生が岩の間に広がり庭園のようだ。鳥海湖に着く頃には眼下に日本海が広がり、素晴らしい眺望が広がった。鳥海湖は流れるガスに見え隠れしていたが、休憩が終わる頃には真っ青な水を湛えて雪渓との美しいコラボを見せてくれた。緑の山肌に何ヶ所となく点在する雪渓はスケールが大きく感動する。御浜小屋、御田ヶ原、七五三掛、文殊岳、行者岳と外輪山を登る。お花の種類之多さと、お花畑の大群生に圧倒される。コース取りで悩んだが、七高山を越えていくとその先の急な大雪渓の登りで、12本アイゼンが無いと厳しいとの事。御室小屋から下ってくる2人がザーッと雪渓を滑落する様子に一同啞然。何とか止まってホッ！とする。分岐を下って千蛇谷の雪渓をツボ足で登り御室小屋に着く。鳥海大物忌神社にザックを置き最高峰の新山を目指す。本格的な岩登りだ。胎内くぐりを抜け一旦下って上を目指す。上り25分、下り15分が結構長く感じられた。山頂は狭く写真を撮りすぐ下山。

御室小屋からは来た道を一気に下る。雪渓歩きもアイゼン無しで大丈夫だった。整備された石畳は歩きやすく、上り6時間近くかかった工程も下りは3:15と超特急だった。天気はうす曇り。雪渓から立ち上る水蒸気で心地良い風を感じながらあまりバテる事もなく登れたのはラッキーだった。朝あった雪渓が急速に解けて流れ池のようになっている。沢山の種類の高山植物、雪渓の景色も楽しみ、最適な時期に登頂できたことをただただ感謝する。

日本海に沈むサンセット



明日登る鳥海山



ベニバナイチゴ



ミツバオーレン



サンカヨウ



ヒナザクラ



チングルマ・ハクサンイチゲ 庭園風



ウラジロヨウラク



イワイチョウ



ヨツバシオガマ



ミヤマキンバイ



コバイケイソウ



ハクサンイチゲ



ハクサンイチゲの八重?



チョウカイフスマ



ハクサンイチゲの花畠



ウサギギク



アカモノ





ニッコウキスゲ



ツガザクラ



ミヤマキンバイ



チョウカイアザミ (触るとべたべた)



外輪山からの眺望



鳥海湖



雪渓とニッコウキスゲ



雪渓



御室小屋と鳥海山山頂の新山



千蛇谷雪渓





鳥海山山頂の新山にて



ハクサンチドリ



胎内くぐり



新山山頂

